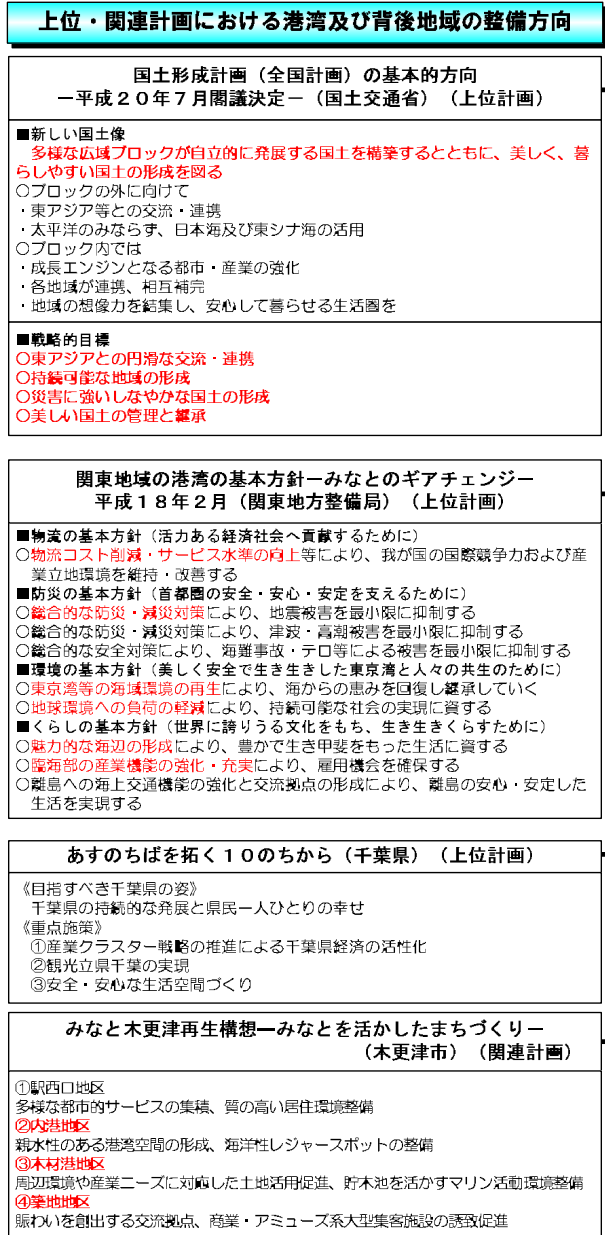


4. 木更津港の将来像と長期空間利用構想(案) (概ね 30 年後の木更津港のあり方)

4-1 木更津港の将来像 (案)

上位・関連計画における港湾及び背後地域の整備の方向を踏まえ、今後木更津港が果たすべき役割及び木更津港の将来像を以下のとおり提案する。



木更津港の果たすべき役割（案）

- 東京湾内に位置する港湾として、物流機能を強化し、首都圏の経済発展に貢献する港湾
- 東京湾内に残された貴重な自然環境を保全するとともに、首都圏のレクリエーション拠点としての役割を担う港湾
- 大規模地震や津波・高潮等の大規模災害から人々の暮らしの安全・安心を支える港湾

木更津港の将来像（案）—今後担うべき役割

物流	物流の効率化・高度化を図り、首都圏及び地域産業の輸送合理化に貢献する“木更津港”
観光 交流 アメニティ	空間の創出と水際線の開放により、海に開かれたまちづくりに貢献する“木更津港”
環境	干潟等の貴重な自然環境と調和した発展を目指す“木更津港”
防災	防災機能を強化し、暮らしの安全と安心に貢献する“木更津港”

4-2 主要施策の展開方向

「木更津港の将来像(案)ー今後担うべき役割」を実現するため、「物流」、「観光・交流・アメニティ」、「環境」、「防災」の4つの柱を中心に、主要施策の展開方向を以下のとおり提案する。

